

令和5年度

事業実績報告書

社会福祉法人 睦愛会

緑園都市睦愛園

## 令和 5 年度 緑園都市睦愛園事業報告概要

藤沢施設への移動を含め、令和 5 年度は合計 12 名の退職がありました。  
常勤・非常勤併せての内訳と致しましては、介護支援専門員兼生活相談員 1 名、介護職員が 10 名となります。

介護職の不足こそありましたが、派遣職員を雇わずサービスを提供することが出来ました。

職員の流出を可能な限り抑え、職員 1 人ひとりがやりがいを持って働ける環境作りに引き続き取り組んで参ります。

入退所の状況と致しましては、令和 5 年度は 29 名の退所、25 名の入所がありました。  
年度途中よりショートステイ 7 床を本入所へ転換致しましたが、そちらの居室も含め入居者の獲得に非常に苦勞する一年となりました。

退所後の空床数は合計で 1769 という結果となりました。入院による空床を含めた年間稼働率は 92.36%という結果となっております。

入退所一進一退の状況が続いておりますが、可能な限り空床数を減少していけるよう取り組んで参ります。

令和 5 年度内に「個別機能訓練加算」の取得を目指しましたが、機能訓練指導員の採用が思うようにいかず令和 5 年度内に取得することが出来ませんでした。

昨年度末にようやく理学療法士を採用致しましたので、今年度より加算の取得を開始しております。

藤沢施設移転増床による 60,000,000 円の拠点区分間繰入金支出、ナースコール設備入替による約 35,000,000 円の支出があり、補助金で 18,450,000 円の収入、持ち出しとして 16,550,000 円。藤沢施設移転増床による 60,000,000 円の資金移動を除いた令和 5 年度の黒字は約 18,000,000 円の結果となりました。

緑園都市睦愛園  
施設長 杉本 哲也

# 令和 5年度実施事業

	目次	頁
1. 振り返り		
(1)介護統括	.....	1
(2)介護	.....	2・3・4
(3)事務・支援相談課・栄養・看護	.....	5
2. 管理部門事業報告		
(1)職員状況	.....	6
(2)実施業務	.....	7
(3)職員の研修(施設外)	.....	8
(4)会議実施状況	.....	9
3. 各事業別報告		
特養・短期入所利用状況		
(1)月別稼働率	.....	10
(2)利用者介護度別状況	.....	11
(3)利用者費用負担別状況	.....	12
(4)事故行政報告状況	.....	13
(5)特養利用者入退所状況	.....	14
(6)利用者年齢別性別状況	.....	15
(7)面会・外出状況	.....	15
(8)介護部門		
(イ)移動・入浴状況	.....	16
(ロ)食事介護状況	.....	16
(ハ)排泄介護状況	.....	17
(9)看護部門 要医療者状況	.....	18
(10)栄養部門		
(イ)食形態状況	.....	19
(ロ)提案・検討事項	.....	19
(ハ)新しい取り組み	.....	19
(ニ)非常食在庫状況	.....	19
(ホ)行事食一覧表	.....	20

## 令和5年度 介護統括目標振り返り

### 1、職員定着について

- ・新卒者採用が1件あったが、カリキュラム通りに進める事が出来、現在も活躍出来ている。
- ・中途採用者の研修は未経験者への最低限の研修（拘束・虐待）は実施したが、中途の経験者への研修が課題となっている。
- ・監査で新入職員への研修（事故防止・拘束虐待）が口頭指摘事項となってしまった為、確実に行う。
- ・慰労や交流に関しては、施設長と協力し4回程、企画が出来、有意義であった。継続していきたい。

### 2、人材確保について

- ・学生の集団説明会等もなく応募待ちの状態であった。学生に対するアプローチが課題となる。
- ・ハローワークの合同面接、説明会に参加が出来1名採用に至った。
- ・職員からの紹介で5名程、採用に至った。これがなかったら厳しい状況になっていた。感謝をするとともに新規採用者の手立てが課題となる。

### 3、リーダーに対して、施設運営（予算等）を意識した指導等を行うについて

- ・会議等で経費や財源を意識した話等は出来ていると思う。各リーダーもその事には意識が出来てきていると実感している。
- ・ある程度、節電・節水・節約というものも意識が出来ていると感じる。今後は新たに取得した加算を維持することと、新規加算にも着手出来たら良い。
- ・排泄支援加算は取得出来なかったので、6年度取得できるように動いていく。

### 4、事故防止に努める

- ・誤薬に関して定期的に注意喚起を行っていたが、誤薬事故が数件発生してしまった。継続の課題となる。ご家族が憤慨するような重大事故は発生しなかった。そのような事故が発生しない様に委員会を通じ指導等を行っていく。
- ・事故防止、職員の負担軽減の為、居室にカメラが設置された。居室での事故原因究明に役立っている。設置し始めの頃は使い勝手に慣れず苦慮した部分があったが、現在は問題無く活用できている。カメラを設置したおかげで、事故が減ったという実績に繋がりたい。

### 5、稼働率向上に向けて

- ・コロナの影響や現場に殆ど入っている為、支援課と一緒に実調に行く機会がなくなった。しかし、それほど問題もないと感じている。比較的速やかに実調から入所に繋がられていると感じる。支援課が奮闘している結果だと思う。
- ・ショートステイ10床から3床へ移行した。本入所が7床増えベッドが安定して稼働している。ショートステイの3床も徐々に稼働率も良くなっており、安定してきていると感じる。現在の所、ショートステイ減床、本入所増床の移行は順調であると感じる。

ユニット	リーダー	令和5年度総評	振り返り1	振り返り2	振り返り3
東A-1	中村 嘉恵	職員が1名育児休暇に入り、各職員の業務負担が多くなり疲れた職員もいた。業務に追われる毎日でレクに対する積極性が低く、関わることを避ける傾向があり思うようにレクを行うことが出来なかった。次回からは、担当月を決めて各職員がレクに参加出来るよう仕事を組みたいと思いました。	ADLの変化に応じた対応の共有  職員が1名足りない中、それぞれがご利用者様のADLについて話し合いながら対応が出来ていたと思う。	事故ゼロを目指す  大きな事故はなかったものの、事故0にすることが出来なかった。リスクが高い人に対して危機感が甘く、事故に繋げてしまった。今後情報の共有を徹底していきたいと思います。	
西A-1	関 謙介	重大事故は起きなかったが、まさか、こんな・・的なことがあったのでいかなる時も油断しないようにとあらためて思った。現職員に関してはそれぞれスキルアップできていると思う。手間も時間もかけて皆でいろいろと教えたがあっさり辞職され、今後指導するにあたり、教わる対象がやる気あるのかないのかの見極めも重要だと感じた。	事故防止  特に大きな事故はなかったので概ね達成出来たが、アザ、キズ等の小さな事故が起きてしまった。	技能向上  現職員に関しては問題なく達成できている。皆で指導した対象者があっさり辞めてしまったのは残念。	
東B-1	日高 忠勝	余暇の充実はレクリエーションも出来る限り利用者にも手伝っていただけでも実施することはできた。コミュニケーションも時間はなくても個々で取る姿勢はできていたと思う。環境整備についてはシーツ交換や床掃除、クローゼットの整理は出来ていたが、トイレ掃除が時間に追われてできていないことがあった。忘れ物についてショートから本入所に切り替わり、退所の件数が減り、気が緩んでしまい、イージーミスが何件かあってしまった。	利用者様との関わりを大事に  定期的に利用者様からの要望が多い 食事レクを実施している。 工作レクでは、一緒に作り上げる過程を楽しんで貰えるよう行っている。レク以外でも日々、利用者様とのコミュニケーションを積極的にとっていたと思う。	基本的な環境整備  ユニット内の基本的な環境整備はおおむね出来ている。今後は、各居室の環境整備を整えて行きたい。	忘れ物を限りなくゼロに  荷物チェックリストを使い忘れ物がない様に概ねできている。時折、違う人の洋服を間違えてしまう事がある為、しまい間違えない様に務めたい。
西B-1	相澤 悦子	途中からユニットリーダーと職員の入れ替わりがあり、既存のやり方では無い事柄に既存の職員からの戸惑いが見られたものの、ケアに支障は無く一年間が経過。ユニットとしては職員間の輪・和を乱すことなく一年前に掲げた目標は達成できていると感じた。毎日課題と向き合い、それぞれが考え・相談し合い・実行出来ており、個々の成長が高く介護職員として、プロとして成長の一年間だったと思う。他ユニットへの介入は職員に片寄りが出来てしまい、新入職員にチャレンジの機会をあげられなかった。	職員間の輪・和  残り三ヶ月の所でユニットリーダーが変わってしまい、既存のユニット職員との和を懸念したが大きなトラブルや困惑は無く一年が経過した。現ユニットの職員は長年睦愛園に所属している職員が多く、関係性は良好と捉えている。新たに新卒者を受け持ち、一から教える「教育」「育成」に奮闘した一年間だったと思う。それぞれが考え、日々の課題に悩み、各署に相談等も全員が出来ているとは言い切れなかったが、乱れることも無かった。どの業界もコミュニケーションは大事で、シフト制であれば尚更であり、新人の育成で言葉の大切さ、伝える事の難しさと重要性を再認識し、より一層感じた。輪はユニット間だけではなく、組織として各部署とのやり取りでも言葉の重要性を感じたがユニットの職員が輪・和を乱す事無く業務を遂行できており、基本ではあるが継続していきたい。	新たな生活様式  コロナが第5類に移行され、世の中も緩和傾向だったが、依然として感染はみられ集団でのレクリエーションを企画するのも実行するのも怖かった。外出することだけが、息抜きでは無く外気浴(屋上で外気浴、駐車場で花見等)も取り入れれば良かったと反省している。	

ユニットリーダー	令和5年度総評	振り返り1	振り返り2	振り返り3
東A-2 宮沼 孝志	<p>(玉那覇聖子記録) ご利用者様の整容面では、適切な更衣や理美容利用、爪切り髭剃り等とてもスムーズであった。 ユニットレクは、やや目標に及ばなかったが、フロアレクへの積極的な参加が出来た。 ご利用者様と職員とのストレスフリー対策については、散歩や外気浴を目標にしていたが、実施はやや不十分であった。しかし、ご利用者様に寄り添う雰囲気作りは出来ていたと思う。</p>	<p><b>基本を忘れずに！</b> 居室・ユニット内保清や身だしなみ等</p> <p>居室清掃、ユニット清掃、身だしなみ、タンス整理など概ね実施できていた。 掃除関係は、業務にスケジュールリングしていないので、今後必要になれば業務に組み込んでいく。</p>	<p><b>充実した豊かな生活支援！</b> 訪問お買い物(ローソン・パン等)利用や積極的なユニットレク企画</p> <p>ローソンの定期的な利用をとても楽しみにしているご利用者様が複数いらした。 職員でのお菓子の在庫管理が主になるので、代理で買物をする場面も多く、ご家族が差し入れを届けるご負担の軽減になるという一面もあった。 ユニットレクは、フロアレクとも併せて複数回実施できていた。食事レク以外に、水槽を設置したり、入浴剤を使用したりと、生活面でも充実に向けて活動できたと思う。</p>	<p><b>ご利用者様も職員もストレスフリーを目指す！</b> 感染対策の元、外出・外気浴の機会を増やす</p> <p>ユニットから出て他ユニットや共有フロアへ自主的に散歩される方もおり、制限のない生活を意識できていた。 外出は施設前で外気浴をする程度で、施設外までは至らず、今後は感染対策の情勢と施設規定に則り、ご利用者様のご希望に沿った気分転換を積極的に実施していきたい。</p>
西A-2 三木 良介	<p>ユニットレク、フロアの合同レクなど定期的に開催出来て良かったと思う。今年度も職員の入替わりがあったがある程度の基盤が出来ていたのでスムーズに職務に努められた。また他部署との連携も出来てきたと思うので継続して行きたいと思う。</p>	<p><b>他部署との情報共有。</b></p> <p>ユニットとして他部署との連携は常に最低限の目標でありスムーズに情報共有していくというテーマで取り組んでいました。しかし利用者様のご家族とコミュニケーションが上手いかず、結果的に他部署や施設全体にご迷惑をお掛けしたかたちになってしまった。今後同じような起きないようにユニットとして改善点の見直しと他部署との連携を強化していく。</p>	<p><b>ユニットレクの開催。</b></p> <p>3F合同レクを月に1回行って、利用者様に楽しんで頂けたと思っています。ユニットレクも定期的に開催出来て良かった。コロナも5類になり外出レクも出来てきたら良いと思う。利用者様の要望に応じられるレクも今後増やせたらと思っている。</p>	<p><b>事故を未然に防ぐ。</b></p> <p>NSコールの変更があり慣れるまで工夫しながら対応したが、事故につながった。見守りカメラを導入したから事故が減ったと言えるような環境づくりにする。また同じ利用者様が事故になっている割合が多いので再発防止に努めていきたい。誤薬はなかったので最低限防げたと思う。</p>
東B-2 霜 祐太郎	<p>個々の介護業務の経験が長いことを意識してしまっただけからか、リーダーからユニット職員に対し、どうしていきたいかや、悩み等を引き出すことが出来ず、自身のコミュニケーション不足を感じた。ノートや申し送りを活用していったが、なかなか伝わらない事もあり、話し合う事の重要性を感じた。経験豊富なリーダーや職員に引張られたりされたリーダー職1年目だったと感じた。レクについては、今年度から月1回のフロアレクと、ユニットレクの実施を職員が企画・実施できていたので、来年度も継続していきたいと思った。</p>	<p><b>ユニット内での情報共有の徹底と連携を図る。</b></p> <p>申し送りノートや他部署との連絡ツールとしてメールでのやりとりを行って情報共有と連携を図っていたが、当日になって他部署に連絡事項が行き届いておらず、対応に時間がかかってしまうことがあった。同じ過ちをしないよう、決まっている件に関しては事前に職員・他部署に連絡し、速やかな情報共有を行うべきだと思った。来年度もこの目標は継続したいと考えている。</p>	<p><b>レクリエーション・余暇時間の充実</b></p> <p>月1回のフロアレク、単独・隣ユニットとの合同レクを定期的に開催し、入居者様を楽しませることが出来たと思われる。コロナ5類に移行になったため、来年度は食事以外のレクリエーションも取り入れていきたいと考えている。</p>	
西B-2 玉那覇 聖子	<p>ユニットレクの実施は概ね出来ていた。フロア全体レク企画をしたので、3F全体で盛り上げられる機会も多く、楽しんでいただけたのではと思う。事故については、日常の状態変化やヒヤリハットの共有を徹底していたら防げたものもあったかもしれないと思う事もあった。次年度も事故防止目標を継続していく。</p>	<p><b>利用者様と一緒に楽しめるレクの計画</b></p> <p>ほぼ毎月、食事レクを実施し楽しんでいただけた。調理などで一緒にできる方は参加いただき、調理中の見学もできるようにしていた。</p>	<p><b>事故防止に努める</b></p> <p>日々、状態変化のあるご利用者様の状況に沿ったケアを心がけた。ヒヤリハットの情報を共有し、事故を防いでいきたい。原因不明な内出血等の事故も起こしていたので、問題を軽視することなく原因の追求と再発予防に努めたい。</p>	

ユニット	リーダー	令和5年度振り返り	振り返り1	振り返り2	振り返り3
			具体的な手立て	具体的な手立て	具体的な手立て
杉山 大輝		今期の目標に取り組んできたが、主体性を持ってもらうことはとても難しいと感じる1年間であった。今後も継続して取り組み、主体的に行動する職員が増えることで、より良い環境を作っていきたい。又、自分自身も新たな課題に、向き合い施設の繁栄に精進したい。	主体的に行動する	身だしなみの徹底	
			職員の異動や入職がある中、目標に向かって取り組むことが出来た。ユニット内で各々の意見が、以前より出るようになり業務調整や、ケアの見直しがスムーズに行えた点は良かったと思う。	ご利用者の、整容は習慣化してきているように感じられ、概ね満足出来る結果であった。職員の見た目の印象もご利用者、ご家族にとっては、大事であると思うので職員の身だしなみに関しても取り組んでいきたいと思う。	
西A 3	江波戸 柚夏	主体的に行動してもらう為の説明や指導が難しく、上手に伝達出来ないことが多かった。生活環境に関してはこまめに実施できた。利用者様にあった環境を作ることが難しかったが、他部署とも相談でき、多くはスムーズな対応が出来ていたと思う。	主体的に行動する	生活環境を整える	
			説明や指導は難しかったものの、職員一人ひとり主体的に行動しようと取り組んでいた。今後は行動する前後の伝達がスムーズに出来るよう取り組んで行く。	利用者様の状態変化が激しい時期もあり、こまめに居室やリビングで過ごされる際の環境に関して考える機会が多かった。中には対応が難しい利用者様のケースもあったが、他部署と相談しながら対応が出来ていることが多かったと思う。今後も継続して出来るよう取り組んで行く。	
東B 3	柴田 千夏	職員の人数が少ないながらも協力し合い、他ユニットからの協力を得て助けられた1年間でした。現職員については日々の業務の中で向上心ももち積極的にコミュニケーションを心掛ける行動がみえ、当日の予定や連絡事項、ケアでの問題点、ご家族のお気持ち等共有したい内容を報告し合い課題に対して皆で取り組み、実行することが見につけられ個々の成長がみられた1年間でした。来年度は個々の特性を活かせるよう仕事の割り振りを考え、介護職として存分に現場で発揮しながらモチベーションを維持していきたい。	主体的に行動する	利用者、家族の意向を吸い上げる	
			自分で仕事見つけ意欲的に取り組みミスをして反省し責任感を持って対応できていたと思う。	ご利用者、ご家族の意向や考えを職員が共有し気持ちに沿える様、他部署とも相談しながら対応できていたと思う。	
西B 3	市村 愛	目標達成に向けて、少しずつではあるが、各職員が意識して業務に取り組めたと思う。ご家族にも協力をして頂き、コミュニケーションを図ることが出来た。	主体的に行動する	利用者様に寄り添い、事故防止に努める。	
			指示されて動くことが少なくなった。整容も一人一人が意識を持ち、業務に取り組んでいた。	各職員が意見を出し合い、ADLを把握したうえで介助を行った結果、昨年より事故が少なくなった。少しの気のゆるみで、事故に繋がるため、これからも意見交換をしながら、事故を未然に防ぎたい。	

部署名	記入者	令和5年度振り返り
事務	中村 愛	<p>財務・経理部門は昨年引き続き、エネルギー価格高騰による電気代が最重要問題でした。4月より節電対策委員会を設置し、節電方法の情報を共有し、蛍光管を外したり各階共有スペースの電気を消したり、エアコン温度に気を配ったりと細かい対策を実施し、確実に効果を上げることが出来ました。</p> <p>人事労務部門は事務員の定着化ができた為、ダブルチェックでの勤怠管理ができ配置基準の確認も早期に把握することができました。また、介護職員で必須となった研修のフォロー等を正確に実施いたしました。</p> <p>リスクマネジメントでは、適切な保険加入届をし個人情報保護も徹底いたしました。</p> <p>防犯・防災は自然災害・感染症BCP(業務継続計画)の常設と訓練が義務化となり、座学、シミュレーション訓練を実施いたしました。</p> <p>経理部門では昨年引き続き計画的に適正な経理処理を実施いたしました。</p> <p>庶務部門では関係機関への届出の実施をし、施設ホームページの入替をしWEB委員会を中心に今後より良いホームページ展開ができるよう進めました。また、保管している書類も指導監査が終了しデータ化可能な書類が多く発生した為、開所から直近までの文書をデータ化し、整理・保管及び破棄(裁断)を行いました。電子化を一気に導入することで、印刷コストの削減、検索にかかる時間短縮により作業効率改善につながりました。</p>
支援相談	久木野 麻美	<p>本来4名体制ですが、7月に1名退職し、それ以降3名で業務分担をしております。10月よりショートステイの本入所転換もあり、入所退所の回転が早い一年でした。特養申し込み者自体が減っている事と、心身状態が重度化している為、入所してもすぐに入院となってしまったり、お亡くなりになる方が増えていると感じています。そんな中少しでも心地よく、穏やかな毎日をご過ごしていただけるように、利用者様はもちろんご家族様の小さな悩みなど、寄り添いを大切にしており、短い期間でも信頼関係を築く事ができました。そんな中亡くなった方のご家族からも緑園都市睦愛園に入所できて良かったというお声をいただき、やりがいを感じております。施設職員と外部のパイプ役となり、話し合いをしながら課題解決に努めるなど、利用者様やご家族様を中心に皆が同じ方向を向いて残された人生をより充実できるように、心をこめて支援させていただきました。支援課が4名体制に戻ったおりに、パン教室や工作レクなど、ご家族様も一緒に楽しめるような余暇活動を計画して参ります。</p>
医務	三上 郁子	<p>2023年9月コロナ、2024年1月インフルエンザ、2月コロナ、2月感染性胃腸炎と施設内で職員、利用者と感染者が出て、感染対策を実施しました。</p> <p>各部署と連携をとり、その都度現在の感染対策で良いか試行錯誤しながら睦愛園に適した方法を模索しながら実施していきました。その結果、他のユニット、他の階などに拡大することなく、終息することができました。</p> <p>また、地域の病院とも連携をとり、重症になりそうな方は、早々に、病院にて治療して頂くことができました。</p> <p>感染症についての知識は委員会を利用して、勉強会などを開催し、施設全体で感染症の理解を深めることができました。今後も、職員の感染症への理解を深める勉強会や研修の実施をおこなっていきます。また、看護師も研修などで勉強し、日々最新の知識を取り入れる努力をします。</p> <p>日頃の利用者の健康管理に他部署と連携をとり維持していくとともに、健康状態の悪化に早期に気が付き対応していくことができました。</p> <p>早い段階でお看取りの方向性や家族の思いを汲み取った対応が不十分だと思われるので、次年度は体重減少、食欲不振、ADLの低下など細かい所まで目を向けた看護をめざしていきます。</p>
栄養	柿本 千尋	<p>昨年度の快食委員会の中で、もっと豪華な食事の提供はできないかとの提案があり、今年度から新たに「特別おやつ」を開始しました。今年度は、ご当地おやつ4回とスイーツバイキング1回の計5回実施しました。ご当地おやつでは神奈川県・山形県・岩手県・宮城県の銘菓を提供しました。スイーツバイキングでは複数のケーキやプリン、アイスなどを用意し、ご利用者に食べたいおやつを選んでいただきました。装飾やポスターも栄養士で作成して雰囲気作りに努めました。ご利用者からは「豪華なおやつで嬉しい」「またやって欲しい」などと嬉しいお声を多数いただきました。そのため、来年度は特別おやつの実施回数を8回へ増やし、より一層楽しんでいただけるよう取り組んでいきます。</p> <p>また、昨年10月よりショートステイから7床が本入所へ転換したことに伴い、ご利用者の担当を非常勤栄養士にも振り分けました。栄養士間で情報共有し、より密接な栄養ケアが出来るよう努めていきたいと思っております。</p> <p>そして、昨年に引き続き今年度も嗜好調査を実施しました。その中で、ご利用者からスパゲッティを食べたいとの要望が複数あり、厨房と相談し献立に取り入れしました。その結果、美味しいと皆さんよく召し上がっていて好評でした。今後もご利用者のご意見やご要望を献立に反映していきたいです。</p>



## 2. 令和5年度 管理部門事業報告

### (1) 緑園都市睦愛園 職員状況

R6.3.31現在

(単位:人)

部門・部署・職名		常 勤			非 常 勤			5年度 退職者	5年度 入職者	
		男性	女性	計	男性	女性	計			
管理・事務 部門	施設長	1	0	1	0	0	0	0	0	
	生活相談員	0	2	2	0	0	0	1	0	
	介護支援専門員	0	2	2	0	0	0	1	0	
	事務	事務員	1	2	3	0	0	0	0	0
施設介護 部門	介 護	介護統括	1	0	44	0	0	28	0	0
		ユニットリーダー	6	6		0	0		1	0
		介護職員	19	12		6	22		9	14
	医 務	看護主任	0	0	2	0	0	8	0	0
		看護師	0	2		0	8		0	0
	厨 房	管理栄養士	0	2	2	0	1	1	0	0
	用務・清掃職員		1	0	1	3	1	4	0	0
	管理当直職員		0	0	0	3	0	3	0	0
	合 計		29	28	57	12	32	44	12	14
101										

(2)実施業務

月	法人関係	防災訓練・点検	保守管理点検(業務委託)	健康管理
R5.4		防災資材点検 自主点検	ELV点検(三菱ビルテクノ) 電気巡視点検(左草電気)	全職員健康診断
5	理事会	自主点検	ELV点検(三菱ビルテクノ) 電気巡視点検(左草電気) 防災設備点検(ヒラボウ)	
6	評議員会	昼間想定防災訓練 自主点検	ELV点検(三菱ビルテクノ) 電気巡視点検(左草電気) 建築物定期点検(アトリエライヴズ)	
7		自主点検	ELV点検(三菱ビルテクノ) 電気巡視点検(左草電気)	
8		自主点検	ELV点検(三菱ビルテクノ) 電気巡視点検(左草電気)	
9		自主点検	ELV点検(三菱ビルテクノ) 電気巡視点検(左草電気) 害虫駆除(京王消毒)	入所者健康診断 職員ストレスチェック
10		自主点検	ELV点検(三菱ビルテクノ) 電気巡視点検(左草電気)	職員健康診断(夜勤)
11		自主点検	ELV点検(三菱ビルテクノ) 電気巡視点検(細井電気) 防災設備点検(ヒラボウ) レジオネラ菌検査(ダイワ)	入所者・職員 インフルエンザ予防接種
12		自主点検	ELV点検(三菱ビルテクノ) 電気巡視点検(左草電気) 受水槽・貯湯槽点検・清掃(加藤設備)	
R6.1		夜間想定防災訓練 自主点検	ELV点検(三菱ビルテクノ) 電気巡視点検(左草電気)	
2		自主点検	ELV点検(三菱ビルテクノ) 電気巡視点検(左草電気)	
3	理事会・評議員会	自主点検	ELV点検(三菱ビルテクノ) 電気巡視・年次点検(左草電気) 害虫駆除(京王消毒) 簡易専用水道検査(神奈川県貯水槽協会)	
その他	年間通した実施 点検項目	車椅子清掃・点検		
		エアコン・加湿器清掃		
		水廻りクロムメッキ磨き		
		施設回り清掃	S字道路沿い枝葉の伐採(泉区役所依頼施工と施設施工)	

### (3)職員の研修

年月日	研修内容	参加職種	実施主体
R5.7.14	新採用職員対象 身体拘束廃止の研修	介護	特別養護老人ホーム 天王森の郷
R5.8.29	高齢者・障害者施設向け感染症対策研修	看護師	泉福祉保健センター
R5.8.30	外国人定着支援セミナー	施設長	横浜市福祉事業経営社会
R5.11.10	外国人定着支援セミナー	施設長	横浜市福祉事業経営社会
R5.11.10	褥瘡セミナー	看護師	国際親善病院
R5.11.13	認知症に伴う各主症状～漢方薬の使い方とコツ～	看護師	(株)ツムラ
R5.11.17	給食施設におけるヘルスリテラシーを高める支援について	管理栄養士	泉福祉保健センター
R5.11.27	人材確保プロジェクト研修	施設長	高齢福祉部会
R5.12.8	リンパ浮腫について学ぼう	看護師	国際親善病院
R6.2.8	分科会研修	施設長	特養分科会
R6.2.14	在宅現場における肺炎治療について	看護師	杏林製薬(株)
R6.2.16	首都圏 呼吸感染症セミナー	看護師	杏林製薬(株)
R6.2.29	給食施設栄養管理研修会	管理栄養士	泉福祉保健センター
R6.2.29	食料備蓄と体制づくり	管理栄養士	泉福祉保健センター

#### 内部研修

R5.4.10	火災訓練の座学	全職員	災害対策委員会
R5.7.10	停電研修	全職員	災害対策委員会
R5.7.12	コロナウイルス研修	介護職員	感染・褥瘡予防委員会
R5.10.11	ノロウイルス研修	介護職員	褥瘡予防委員会
R5.10.17	拘束・虐待防止研修	介護職員	身体拘束虐待防止委員会
R5.10.25	KYT研修	介護職員	事故防止委員会
R5.12.4	火災訓練の座学	全職員	災害対策委員会
R5.12.13	ターミナル研修	介護職員	医務
R5.12.20	倫理研修	全職員	施設長
R6.1.8	BCP研修、自然災害シュミレーション	全職員	災害対策委員会
R6.1.10	ポジショニング研修	介護職員	褥瘡予防委員会
R6.1.11	歯科医師研修	介護職員	小林歯科
R6.1.29	JCS研修	介護職員	医務
R5.3.24	拘束・虐待自己チェック	介護職員	身体拘束虐待防止委員会
R6.3.11	ターミナル研修	介護職員	医務

#### (4) 会議実施状況

名称	開催状況	議題	出席職種
代表者会議	月1回	全部門の代表者による運営面を主とした課題、問題整理の検討・伝達・報告・連絡調整	施設長、支援相談課主任、事務主任代理、看護師、介護統括、介護統括副主任、フロアリーダー、管理栄養士
ユニットリーダー会議	年6回(偶数月)	運営面の伝達とユニットの運営についての検討	施設長、介護統括、全ユニットリーダー
フロア会議	年6回(奇数月)	運営面の伝達とユニットの運営についての検討、フロア内運営についての検討	ケアマネ、相談員、フロアリーダー、ユニットリーダー
ケースカンファレンス	月1回 ／随時	個別処遇計画の立案及び検討	施設長、ケアマネ、相談員、看護師、管理栄養士、介護統括、担当介護職員、利用者御家族
入退所判定会議	月1回／随時	入所待機者及び退所者についての判定	施設長、ケアマネ、相談員、介護統括、管理栄養士、看護師
ケアカンファレンス ミニケアカンファレンス	月1回 日1回	直接処遇及び業務全般に関する検討・伝達	介護統括、 当日出勤職員
医務会議	随時	看護業務に関する検討	看護師
厨房会議	随時	業務全般に関する検討・伝達	管理栄養士、調理員
献立会議	随時	献立の確認と代替食等の検討	
各委員会会議	月1回	感染褥瘡・事故防止・身体拘束・快食委員会において各議題の検討	管理栄養士、ケアマネ、相談員、看護師、介護統括、介護職員、事務員
労働安全衛生会議	月1回	環境整備及び衛生管理に関する検討	施設長、産業医、衛生管理者、ケアマネ、相談員、事務員、看護師、管理栄養士、介護統括
災害対策会議	年6回(隔月)	防災計画策定 避難計画策定と訓練実施(年2回) 備蓄品管理・地域連携	施設長、防火防災管理者、介護統括、ユニットリーダー、管理栄養士、ヤマト食品、相談員、管理当直者

## 2. 事業別報告

### (1) 月別稼働率

①介護老人福祉施設 (4月～9月定員110名 10月～定員117名)

月	利用実人員	利用延数	空床延数			稼働率
			入院	外泊	退所後	
4	109	3057	149	0	94	92.60
5	106	3201	106	0	104	93.80
6	108	2998	169	0	133	90.80
7	109	3167	129	0	114	92.80
8	108	3170	71	0	169	92.90
9	105	3050	116	0	134	92.70
10	110	3292	101	0	234	90.70
11	113	3263	81	0	165	92.90
12	115	3398	98	0	132	93.60
1	111	3336	155	0	135	91.90
2	111	3101	148	0	144	91.30
3	111	3343	66	0	211	92.30
計	1316	38376	1389	0	1769	92.36

②(介護予防)短期入所生活介護(4月～9月定員10名 10月～定員3名)

月	利用実人員	利用延数	稼働率
4	14	241	80.00
5	18	211	68.00
6	20	181	60.00
7	18	169	55.00
8	18	211	68.00
9	15	224	75.00
10	6	70	75.00
11	7	36	40.00
12	8	35	38.00
1	3	45	48.00
2	6	60	71.00
3	9	89	95.00
計	142	1572	64.42

月	送迎延数
4	2
5	0
6	0
7	1
8	3
9	2
10	0
11	1
12	2
1	0
2	0
3	0
計	11

(2) 利用者要介護度状況

①介護老人福祉施設 (月末実人員)

月	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均
4	3	11	40	30	25	3.5
5	3	12	39	29	23	3.5
6	3	12	41	30	22	3.5
7	3	10	45	28	23	3.5
8	2	9	47	28	22	3.5
9	2	10	47	25	21	3.5
10	2	13	49	24	22	3.4
11	1	15	49	24	24	3.5
12	1	16	52	22	24	3.5
1	1	18	49	21	22	3.4
2	1	19	49	22	20	3.4
3	2	19	49	22	20	3.3

②(介護予防)短期入所生活介護 (各月利用実人員)

月	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均	支援 1	支援 2
4	2	4	3	5	0	2.7	0	0
5	4	5	5	4	0	2.5	0	0
6	5	3	2	5	2	2.7	0	1
7	3	5	4	6	0	2.7	0	1
8	1	8	3	4	2	2.8	0	1
9	1	7	3	2	1	2.6	0	1
10	0	4	0	2	0	2.6	0	0
11	0	3	0	1	2	3.3	0	1
12	1	0	2	0	2	3.4	0	0
1	0	1	1	1	0	3	0	0
2	0	1	1	2	1	3.6	0	0
3	1	2	2	3	1	3.1	0	0

### (3) 利用者費用負担別状況

#### ①介護老人福祉施設 (4月～9月定員110名 10月～定員117名)

月	第1(生保)	第 2	第3①	第3②	第 4	計
4	1	10	7	38	53	109
5	1	10	7	36	52	106
6	1	10	8	37	52	108
7	1	10	8	37	53	109
8	1	13	8	37	49	108
9	1	13	6	39	46	105
10	1	13	5	41	50	110
11	1	13	5	41	53	113
12	1	14	5	43	52	115
1	1	14	5	42	49	111
2	1	14	5	42	49	111
3	1	14	5	43	48	111

#### ②(介護予防)短期入所生活介護(4月～9月定員10名 10月～定員3名)

月	第1(生保)	第 2	第3①	第3②	第 4	計
4	1	1	0	3	9	14
5	0	2	2	4	10	18
6	0	2	0	3	12	17
7	0	2	2	4	10	18
8	1	2	0	4	12	19
9	0	2	1	3	9	15
10	0	0	0	2	4	6
11	0	0	0	1	6	7
12	0	1	0	0	4	5
1	0	1	0	0	2	3
2	0	1	1	0	3	5
3	0	1	1	0	7	9

#### (4) 事故行政報告状況

月／種別	骨折・ヒビ	打撲等	切傷等	誤嚥	感染症	誤薬	その他	合計
4	0	0	1	0	0	1	0	2
5	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	1	0	0	0	1	0	2
7	1	0	1	0	0	3	0	5
8	0	1	0	0	0	2	0	3
9	1	2	1	0	0	2	0	6
10	1	1	2	0	0	1	0	5
11	1	4	0	0	0	1	0	6
12	1	4	0	0	0	0	0	5
1	0	2	0	0	5	0	0	7
2	1	6	0	0	0	0	1 異食	8
3	0	4	0	0	0	1	0	5
合計	6	25	5	0	5	12	1	18

#### 骨折事故状況

性別	年齢	骨折部位	経緯	経過
女	90	右上腕遠位端骨折	22:00頃居室内で物音がした為職員が伺うと床でうずくまっている所を発見。トイレ行こうとして転んだと本人より話あり。右腕に痛み訴えあり。	翌朝痛みが増し、熱感あり受診となる。手術目的で入院になる。
女	65	左橈骨骨折	6:10頃居室内で着替えている所を職印が確認。一人で大丈夫との事で職員がその場を離れる。10分後職員が様子を見に伺うと床に倒れている所を発見した。右手首に痛みあり。	受診しシーネ固定、痛み止め内服を処方される。
女	86	左大腿骨転子部骨折	3:30頃居室内より物音がした為職員が伺うと上半身裸で下半身半分脱いだ状態で床に倒れている所を発見。放尿し左後頭部から出血もあった。	5:30オムツ交換時臀部に痛み訴えあり。9:00受診し入院となった。
女	105	恥骨骨折、座骨骨折	9:00頃トイレへ行きたいと訴えがありトイレへお連れし便器に座った後、手袋を取りに職員がその場を離れた際、便器から転落しあお向けに倒れている所を発見。	左膝から出血、頭と臀部を強く打ったと本人より話があり受診。左膝の傷の処置を受け痛み止め内服処方し施設に戻る。
男	90	腰椎圧迫骨折	夕方より腰痛があり、湿布を貼って様子を見たが痛み軽減せず翌日受診。骨折なく施設に戻るが1週間経過し痛みがどんどん増していた為再診。	2度目の受診で腰椎がつぶれ体内で出血している為痛みが増したと診断。転倒しておらず原因は不明。
女	99	腰椎ひび	腰の痛みがあり、本人持ちのカロナールを内服したが痛みが軽減せず。3日経過しても痛みが続いた為受診となった。	受診しカロナールを追加で処方され施設に戻る。転倒しておらず原因不明。



## (5) 利用者入退所状況

退所状況					入所状況				
	年齢	理由	関連機関	介護度		年齢	理由	関連機関	介護度
4月	96	死亡①	緑園都市睦愛園	4	6月	91	本入所①	老健	4
4月	96	死亡②	緑園都市睦愛園	5	6月	83	本入所②	老健	3
5月	89	入院継続③	病院	5	7月	82	本入所③	病院	3
6月	87	死亡④	緑園都市睦愛園	2	7月	87	本入所④	病院	3
6月	89	死亡⑤	緑園都市睦愛園	4	7月	82	本入所⑤	病院	4
7月	89	死亡⑥	病院	5	8月	94	本入所⑥	在宅	4
7月	98	死亡⑦	緑園都市睦愛園	1	8月	90	本入所⑦	老健	4
7月	87	死亡⑧	病院	4	9月	89	本入所⑧	有料	2
7月	98	死亡⑨	緑園都市睦愛園	4	10月	91	本入所⑨	老健	4
8月	91	死亡⑩	緑園都市睦愛園	4	10月	69	本入所⑩	在宅	3
8月	88	死亡⑪	緑園都市睦愛園	4	10月	93	本入所⑪	在宅	2
9月	100	死亡⑫	緑園都市睦愛園	4	11月	89	本入所⑫	老健	4
9月	93	入院継続⑬	病院	5	11月	86	本入所⑬	老健	5
9月	94	死亡⑭	緑園都市睦愛園	4	11月	79	本入所⑭	有料	5
10月	99	死亡⑮	病院	4	11月	87	本入所⑮	病院	5
10月	96	死亡⑯	緑園都市睦愛園	5	12月	97	本入所⑯	在宅	2
11月	102	死亡⑰	緑園都市睦愛園	4	12月	92	本入所⑰	在宅	3
11月	90	入院継続⑱	病院	5	12月	89	本入所⑱	老健	3
11月	80	死亡⑲	緑園都市睦愛園	5	12月	90	本入所⑲	老健	2
12月	79	死亡⑳	緑園都市睦愛園	5	12月	95	本入所㉑	在宅	4
12月	90	死亡㉒	病院	3	2月	91	本入所㉒	廿高住	4
1月	95	死亡㉓	緑園都市睦愛園	5	2月	91	本入所㉓	GH	3
1月	96	死亡㉔	緑園都市睦愛園	4	3月	85	本入所㉔	在宅	3
2月	87	入院継続㉕	病院	3	3月	95	本入所㉕	老健	4
2月	92	死亡㉖	緑園都市睦愛園	5	3月	77	本入所㉖	在宅	1
2月	91	入院継続㉗	病院	4					
3月	89	入院継続㉘	病院	4					
3月	80	入院継続㉙	病院	3					
3月	89	死亡㉚	病院	4					

(5) 利用者年齢別性別状況

①介護老人福祉施設(年度末現在)

年齢	男	女	計	備考
100歳以上	0	4	4	最高齢 105歳
90～99歳	10	59	69	
80～89歳	11	20	31	
70～79歳	3	2	5	
55～69歳	1	1	2	最若年齢 66歳
計	25	86	111	

②(介護予防)短期入所生活介護

年齢	男	女	計	備考
100歳以上	0	1	1	
90～99歳	5	13	18	最高齢 100歳
80～89歳	7	14	21	
70～79歳	1	1	2	
50～69歳	1	3	4	最若年齢 60歳
計	14	32	46	

(6) 面会・外出 状況

月	面会	備考	外出
4	103	一日5組限定、完全予約制。面会は10分間、1階ラウンジで対面。ビデオ通話も10分間	なし
5	105	一日5組限定、完全予約制。面会は10分間、1階ラウンジで対面。ビデオ通話も10分間	//
6	170 ビデオ通話1	6/1～予約制、原則30分以内で居室面会可。人数制限なし。	//
7	168 ビデオ通話3		//
8	121 ビデオ通話2		//
9	92 ビデオ通話1		//
10	134 ビデオ通話2		//
11	124 ビデオ通話2		//
12	158 ビデオ通話3		//
1	134 ビデオ通話2		//
2	99 ビデオ通話2		//
3	109 ビデオ通話1		//

※6月以降ビデオ通話の回数は海外在住の家族。それ以外は希望なし。

(8) 介護部門

(イ) 移動・入浴状況

① 介護老人福祉施設 (年度末現在)

ユニット	自立歩杖	歩行器	車椅子			個浴	中間浴	特浴
			自操	ティルト	フルリク			
東A-1	0	2	5	3	0	4	0	6
西A-1	0	1	7	0	1	4	0	5
東B-1	2	1	4	0	0	7	0	0
西B-1	1	2	6	0	0	4	4	1
東A-2	1	0	8	1	0	3	3	4
西A-2	0	0	6	0	1	4	0	3
東B-2	1	0	8	1	0	6	0	4
西B-2	1	0	9	0	0	5	2	3
東A-3	1	1	5	3	0	2	0	8
西A-3	1	0	7	2	0	4	1	5
東B-3	2	0	7	1	0	3	3	4
西B-3	0	1	3	5	0	2	0	7
計	10	8	75	16	2	48	13	50

② (介護予防) 短期入所生活介護 (年度内実人員)

ユニット	自立歩杖	歩行器	車椅子			個浴	中間浴	特浴
			自操	ティルト	フルリク			
東B-1	112	7	42	0	7	135	0	14

(ロ) 食事介護状況

① 介護老人福祉施設 (年度末現在)

ユニット	自立	一部介助	全介助
東A-1	9	0	1
西A-1	5	2	2
東B-1	7	0	0
西B-1	8	0	1
東A-2	10	0	0
西A-2	6	1	0
東B-2	7	3	0
西B-2	6	2	2
東A-3	7	1	2
西A-3	7	2	1
東B-3	8	1	1
西B-3	4	1	4
計	84	13	14

② (介護予防) 短期入所生活介護 (年度内実人員)

ユニット	自立	一部介助	全介助
東B-1	135	0	14

(ハ)排泄介護状況

①介護老人福祉施設 (年度末現在)

ユニット	トイレ使用	ポータブルトイレ・尿器		パッド使用	おむつ使用
		昼夜	夜のみ		
東A-1	5	0	0	10	3
西A-1	4	0	0	9	5
東B-1	7	0	0	4	0
西B-1	8	0	0	8	1
東A-2	5	1	1	10	4
西A-2	6	0	2	7	4
東B-2	7	0	0	10	3
西B-2	7	1	0	10	3
東A-3	2	0	0	10	7
西A-3	3	0	0	10	6
東B-3	8	0	1	9	3
西B-3	3	1	0	9	7
計	65	3	4	106	46

②(介護予防)短期入所生活介護 (年度内実人員)

ユニット	トイレ使用	ポータブルトイレ・尿器		パッド使用	おむつ使用
		昼夜	夜のみ		
東B-1	135	0	0	126	14

## (9)看護部門

## 要医療者実人員

看護師による主な処置	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①痰の吸引	1	1	3	2	4	2	1	2	3	2	4	2
②在宅酸素療法	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
③酸素吸入	3	2	2	0	1	1	1	1	2	2	0	1
④経管栄養	3	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2	1
⑤胃瘻処置	3	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2	1
⑥腔錠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦座薬・浣腸	10	10	10	8	9	14	14	14	15	12	12	17
⑧膀胱洗浄	4	4	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4
⑨バルカテール管理	7	7	6	6	6	7	8	6	7	8	8	8
⑩神経系テープ	2	2	2	2	2	2	0	0	1	1	1	1
⑪呼吸器系テープ	2	2	2	3	3	2	3	3	5	4	4	3
⑫心臓系テープ	4	4	6	6	6	6	5	5	5	6	6	5
⑬認知症パッチ	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0
⑭泌尿器系パッチ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑮軟膏塗布	31	18	36	20	17	19	19	25	11	22	27	14
⑯創処置	12	26	9	7	17	17	6	11	26	11	15	8
⑰褥瘡処置	8	7	1	5	2	4	7	6	9	2	8	8
⑱点耳	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
⑲採血	28	30	18	28	11	100	0	1	30	27	24	32
⑳心電図	28	30	17	27	10	100	0	0	28	26	24	31
㉑湿布	7	5	4	0	0	0	3	1	1	1	1	0
㉒ヘモ系座薬	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
㉓眼軟膏	1	1	2	1	1	1	1	2	2	1	1	1
㉔人工肛門処置	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
㉕弾性包帯巻き替え	0	0	1	1	0	1	2	2	1	1	2	1
㉖創傷ステリテーピング	2	2	7	6	1	2	1	1	3	5	2	4
㉗膀胱瘻処置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
㉘骨折部シーネ固定処置	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0

(10) 栄養部門

(イ) 食形態状況

主食	令和5年度	副食	令和5年度
米飯	32.9 %	常菜	23.4 %
おにぎり	1.8 %	一口大	24.1 %
軟飯	14.1 %	刻み食	20.8 %
全粥	32.1 %	極刻食	18.1 %
ソフト粥	0.3 %	ソフト食	5.6 %
パン	6.7 %	ミキサー食	8.0 %
パン粥	8.2 %	補助食品	4.1 %
補助食品	4.0 %		

(ロ) 提案、検討事項

利用者・家族・CWからの要望、提案事項の取り組み

要望・提案	取り組み
ハヤシライスの時の主食量を増やして欲しい。	個人で変わりご飯時の主食量を増やした。
おやつ食形態がミキサー食の方にとっては、ゼリーが硬いのではないかと。	ゼリーをミキサーにかけてから提供することになった。
煮りんごが美味しくない。	煮りんごから生のりんご(スライスカット)に献立を変更。
冷たい麺の時に麺つゆの量が足りない。	麺提供人数に応じて麺つゆの提供量を変えていたが、今後は全ユニット10名分の麺つゆ量を提供することになった。
トロミ剤が厨房に請求してからユニットに届くまで遅い時がある。	請求が来たらなるべく早くユニットにトロミ剤を配膳するようにヤマト食品に周知。
「鶏肉の焼肉炒め」の味付けが薄い。	味付けを濃くして、同メニューを再度提供し、利用者にご意見を伺った。
パン提供時のジャムの量がかなり少ないことがある。	ジャムは専用のスプーン山盛り1杯と決めて盛り付けるようにヤマト食品に周知。

(ハ) お楽しみランチ(SS)実績

	実施内容
4月	三色おにぎり
5月	タラフライ&エビフライプレート
6月	ちらし寿司のトッピングのバイキング
7月	サワラの梅照り焼き or 鶏肉の梅照り焼き
8月	三色おにぎり
9月	天津丼

※10月以降はSS床一部が特養に転換にてお楽しみランチは実施終了。

(ニ) 特別おやつ実績

	実施内容
4月	ご当地おやつ ~神奈川県~ 栗まんじゅう、鳩サブレ、マンゴープリン
6月	スイーツバイキング ケーキ6種、カップデザート3種、アイス3種
11月	ご当地おやつ ~山形県~ フルーツゼリー、すりおろしゼリー
2月	ご当地おやつ ~岩手県~ ペイクドチーズケーキ、レアチーズケーキ
3月	ご当地おやつ ~宮城県~ 萩の月、牛タンせんべい、プリン

(ホ) 非常食在庫状況

非常食=(利用者120人分+職員60人分)×3日分

食品名	数量	内容量
水	150 C/S	1C/S=2ℓ×6本
白米	15 C/S	1C/S=200g×36
白粥	4 C/S	1C/S=50人分
パン缶	6 C/S	1C/S=100g×24缶
けんちん汁	4 C/S	1C/S=15食×2
味噌汁	2 C/S	1C/S=12本
ポタージュ	3 P	1P=1kg
黄桃缶	3 C/S	1C/S=24缶
みかん缶	3 C/S	1C/S=24缶
白桃缶	3 C/S	1C/S=24缶
やきとり缶	4 C/S	1C/S=24缶
鯖の水煮	4 C/S	1C/S=24缶
鯖の味噌煮	4 C/S	1C/S=24缶
鶏ささみ缶	8 C/S	1C/S=24缶
カレーライス	12 C/S	1C/S=170g×10×3
ハヤシライス	6 C/S	1C/S=200g×10×6

※ランニングストック=米、生野菜、缶詰、惣菜、冷野菜、乾物  
(委託側も含む) 栄養補助食品、OS-1ゼリー

(へ) 令和5年度行事食一覧表

	行事	献立名	季節のおやつ
4月	握り寿司	握り寿司(マグロ、サーモン、海老、ハマチ、厚焼き玉子、細巻き)、茶碗蒸し、お吸い物	
5月	端午の節句	彩りちらし寿司、お吸い物、冬瓜のカニあんかけ、煮豆	旬の果物(キウイ・いちご)
6月	夏越ご飯	夏越ご飯、お吸い物、彩りしんじょうの炊き合わせ、夏みかん缶	
7月	むつみ焼きイベント		七夕ゼリー
	七夕	七夕そうめん、野菜のかき揚げ、冬瓜の薄くず煮	
8月			旬の果物(すいか・メロン)
9月	敬老の日(祝膳)	お赤飯、お吸い物、天麩羅の盛り合わせ、高野豆腐の炊き合わせ、青菜のゆず和え、茶わん蒸し	ねりきり
	夏祭り	焼きそば、サンドイッチセット(ハム・玉子・ツナ)、お赤飯&いなり寿司、ちらし寿司、フライドチキン&ポテトフライ、小籠包、コロケ、エビフライ、焼き鳥、きゅうりの浅漬け、豚汁、シフォンケーキ(プレーン・抹茶・ココア)、パンプキンポテト、あんみつ	
10月	握り寿司	握り寿司(マグロ、サーモン、海老、ハマチ、厚焼き玉子、細巻き)、茶碗蒸し、お吸い物	かぼちゃシフォンモンブラン風 旬の果物(柿、梨)
11月	握り寿司	握り寿司(マグロ、サーモン、海老、ハマチ、厚焼き玉子、細巻き)、茶碗蒸し、お吸い物	
12月	クリスマス・イブ	えびピラフ、コーンスープ、もみの木ハンバーグ、黄桃缶	ブッシュド・ノエル
	クリスマス	バターライス、ミネストローネ、タンドリーチキン、花野菜サラダ、フルーツポンチ	
	お餅つき		
	年越しそば	年越しそば、青菜のなめ茸和え、みかん	
1月	元旦	お赤飯、お雑煮、赤魚の塩焼き、蒲鉾、煮メ、黒豆、数の子、栗きんとん、伊達巻、菜の花にしん、昆布巻き、みかん	旬の果物(りんご・いちご)
	2日	ご飯、お吸い物、刺身盛り合わせ、松風焼き、炊き合わせ	
	3日	ご飯、お吸い物、天麩羅盛り合わせ、かぶの白煮、紅白なます	
	七草粥	青菜粥、紅生姜天の煮物、青菜のゆかり和え、牛乳	
	小正月	小豆粥、玉ねぎ天の煮物、青菜のごまよごし、牛乳	
2月	節分	五目ちらし寿司、つみれ汁、大豆の煮物、青菜のゆず和え	チョコババロア 豆腐チョコのせ
	握り寿司	握り寿司(マグロ、サーモン、海老、ハマチ、厚焼き玉子、細巻き)、茶碗蒸し、お吸い物	
3月	ひな祭り	桜ちらし寿司、若竹汁、田舎がんもの炊き合わせ、青菜のごま味噌和え	桃まんじゅう
	桜餅レク		

# R5年11月 嗜好調査結果

緑園都市陸園 栄養課

1

- **目的**：利用者様の要望や嗜好、現在のお食事の満足度を把握し、今後の献立や調理方法に反映して、食事に対する満足度を向上させることを目的とする。
- **期間**：令和5年11月13日(月)～令和5年11月24日(金)
- **聞き取り時間**：12時～13時
- **対象**：・特別養護老人ホーム入所者 112名（R5年11月24日時点）  
のうち、聞き取り可能であった方 **67名**  
⇒**対象者率 59.8% (67/112)**
- **方法**：栄養士による聞き取りアンケート  
職員に関してはアンケート用紙を配布して自身で記入

2

## 【回収状況】

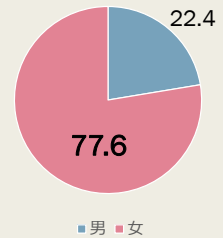
		人数 (人)	回収率 (%)
利用者	対象数	67	100
	回収数	67	

3

## 【回答者の基礎データ(利用者)】

### ■ 性別

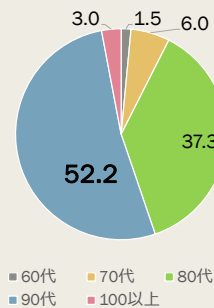
	人数 (人)	割合 (%)
男	15	22.4
女	52	77.6



4

### ■ 年齢

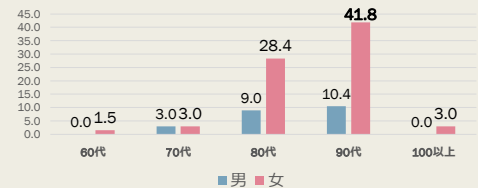
	人数 (人)	割合 (%)
60代	1	1.5
70代	4	6.0
80代	25	37.3
90代	35	52.2
100以上	2	3.0



5

### ■ 年齢別男女比

割合 (%)	60代	70代	80代	90代	100以上
男	0.0	3.0	9.0	10.4	0.0
女	1.5	3.0	28.4	41.8	3.0
合計	1.5	6.0	37.3	52.2	3.0

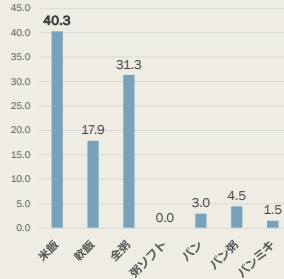


6



## ■ 主食の食形態

	人数 (人)	割合 (%)
米飯	27	40.3
軟飯	12	17.9
全粥	21	31.3
粥ソフト	0	0.0
パン	2	3.0
パン粥	3	4.5
パンミキ	1	1.5



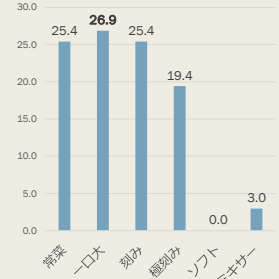
※1名主食提供なし

昼食後に聞き取りを行ったため食形態は昼食時のもの。

7

## ■ 副食の食形態

	人数 (人)	割合 (%)
常菜	17	25.4
一口大	18	26.9
刻み	17	25.4
極刻み	13	19.4
ソフト	0	0.0
ミキサー	2	3.0



※昼食後に聞き取りを行ったため食形態は昼食時のもの。

8

# 【結果】

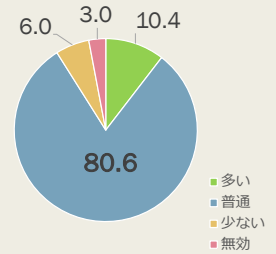
9

## 問1 食事についてお尋ねします。

当てはまるものに○をつけてください。

ア：量はいかがですか？

	人数 (人)	割合 (%)
多い	7	10.4
普通	54	80.6
少ない	4	6.0
無効	2	3.0



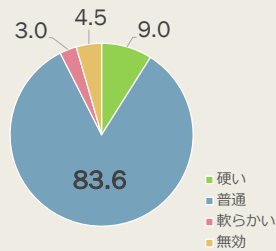
10

## 問1 食事についてお尋ねします。

当てはまるものに○をつけてください。

イ：硬さはいかがですか？

	人数 (人)	割合 (%)
硬い	6	9.0
普通	56	83.6
軟らかい	2	3.0
無効	3	4.5



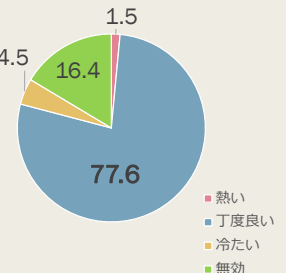
11

## 問1 食事についてお尋ねします。

当てはまるものに○をつけてください。

ウ：温度はいかがですか？

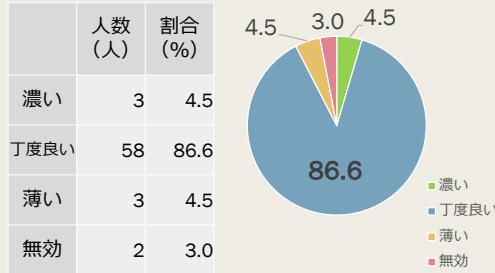
	人数 (人)	割合 (%)
熱い	1	1.5
丁度良い	52	77.6
冷たい	3	4.5
無効	11	16.4



12

**問1 食事についてお尋ねします。**  
**当てはまるものに○をつけてください。**

**エ：味付けはいかがですか？**



13

食事の量について、81.6%の方が『普通』と回答されました。また、『多い』・『少ない』と回答された方が合わせて16.4%いらっしゃいましたが、個別で食事量を変更しました。

食事の硬さについて、83.6%の方が『普通』と回答されました。『硬い』と回答された方のうち、主食が米飯の方が2名、軟飯の方が1名、全粥の方が1名、パンの方が1名でした。個別で対応し、希望がある方は食形態を変更しました。

食事の温度について、77.6%の方が『丁度良い』と回答されました。他の質問と比較して『無効』が16.4%と多かったため、質問内容が難しく、理解出来なかった可能性があります。

食事の味付けについて、86.6%の方が『丁度良い』と回答されました。「日によって味付けの濃さが違う」というご意見もあったため、調理従事者によって仕上がりにばらつきが出ないよう、調味料の使用量の統一や塩分濃度計の使用、火加減の調節等給食委託会社と調整していきたいと思えます。

14

**問2 今まででたお食事の中で美味しかったものと美味しくなかったものはなんですか？**

◆美味しかったもの

全部	12人	ラーメン	しょっぱくないもの
握り寿司	10人	ちらし寿司	ほうれん草の胡麻和え
味噌カツ丼	4人	米飯	タラフライ
うな丼	3人	赤飯	餃子
カレーライス	3人	炊き込みご飯	唐揚げ
魚料理	2人	茶めし	カツレツ
揚げ物	2人	焼きそば	パイナップル
かぼちゃの煮物	2人	うどん	じゃがいも
酢の物	2人	そば	魚の煮付け
パン	2人	パン粥	八宝菜
天ぷら	2人	お正月料理	果物

15

**問2 今まででたお食事の中で美味しかったものと美味しくなかったものはなんですか？**

◆美味しくなかったもの

麺	2人	名前も分からないような魚	ナス
オクラ	2人	魚料理	大根
混ぜご飯		赤魚の沢煮	ひじき
茶めし		天ぷら	春雨
うどん		野菜炒め	お浸し
ラーメン		ハンバーグ	里芋の練り物
お吸い物		麻婆豆腐	黄桃
麺が入っている汁物		おでん	あんかけ
スープ		醤油の味が濃いもの	

16

**問3 食べたい物、好きな食べ物はなんですか？**

握り寿司	8人	カツ丼	2人	カレー	焼肉	じゃこ天	漬物
スパゲッティ (イカ・タコ・マクロ)	4人	餃子	2人	天丼	うなぎ	カニ料理	ワサビ
刺身 (イカ・タコ・マクロ)	4人	里芋	2人	そうめん	唐揚げ	きんぴら	鍋
魚	4人	お雑煮		つけ麺	卵焼き	生野菜サラダ	納豆汁
天ぷら	4人	手巻き寿司		肉うどん	ウインナー	酢の物	郷土料理
生果物	4人	ちらし寿司		ハンバーガー	ロールキャベツ	軟かい野菜	季節の物
うどん	3人	雑炊		親子丼	おでん	野菜の煮物	
赤飯	2人	炒飯		稲荷寿司	ステーキ	じゃがいもの煮物	
肉料理	2人	おにぎり		豚肉料理	鯖の味噌煮	梅干し	
ピザ	2人	炊き込みご飯		魚や肉のフライ	肉まん	おかか	

17

今までのお食事の中で美味しかったものとして、『全部』が12票で一番多く、次いで握り寿司10票、味噌カツ丼4票という結果でした。

美味しかったものは行事食やイベントでの食事等、普段とは違う特別な食事を挙げる方が多かった印象です。今後も日々の生活の中での楽しみになるような行事食を充実させていきたいと思えます。

今までのお食事の中で美味しくなかったものとして、麺とオクラが2票でした。

美味しかったものとして挙げていた天ぷらやラーメン等が美味しくなかったものとして挙げていて個人の嗜好に左右される結果となりました。偏りなくバリエーション豊かなメニューを提供できるように尽力して参ります。

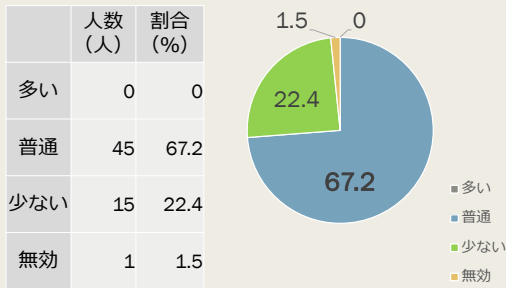
また、食べたい物・好きな食べ物として握り寿司が8票で一番多く、次いでスパゲッティ、刺身、魚、天ぷら、生果物が4票でした。行事食の握り寿司が一番人気で利用者様に喜んでいただけていることを再認識できたため、これからも継続していきたいです。スパゲッティの提供については、今後給食委託会社と検討していきたいと考えております。

沢山の貴重なご意見をいただくことができたので、今後の献立作成や行事、レクリエーション等に反映していきたいと思えます。

18

#### 問4 おやつについてお尋ねします。

ア：量はいかがですか？



19

#### 問4 おやつについてお尋ねします。

イ：食べたいおやつ・好きなおやつはなんですか？

あんこのお菓子	10人	チョコ	3人	どら焼き	ロールケーキ	クレープ
ケーキ (パンキン・ショートケーキ)	4人	せんべい (のりまき、甘い物、羊羹(棒) かわら)	3人		プリン	たご焼き
生果物 (スイカ、みかん、バナナ、梨、りんご)	4人	ゼリー	2人	みつ豆	マドレーヌ	お好み焼き
甘い物	4人	カステラ	2人	おやき	バームクーヘン	カップ麺
饅頭	3人	しょっぱいもの	2人	田楽	ホットケーキ	野菜の天ぷら
おしるこ	3人	和菓子		あんまん	アイスクリーム	芋けんぴ
たい焼き	3人	今川焼		にくまん	パパロア	牛乳寒天
菓子パン	3人	大福		生菓子	シュークリーム	

20

おやつの量について『普通』と回答された方が67.2%、『少ない』と回答された方が22.4%であり、『多い』と回答された方は1人もいらっしゃいませんでした。

『少ない』と回答された方につきましては移動販売での購入品やご家族からの差し入れ等でまかなっている印象でした。

また、食べたいおやつ・好きなおやつについて、あんこのお菓子が10票で1番多く、次いでケーキ、生果物、甘い物が4票でした。

現在はあんこが入ったお菓子を月に5~6回おやつにて提供しています。

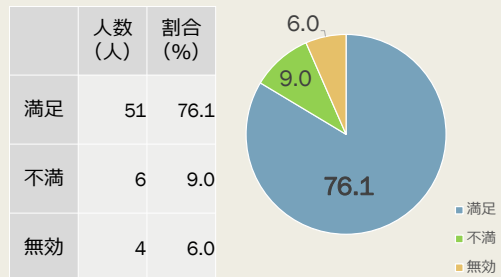
施設で提供されるたい焼きや饅頭等は小さいサイズのため、「大きいものが食べたい」という意見もございました。

現在生果物は施設では年4回提供しています。利用者様に好評のため、今後継続していきたいです。

おやつに関しましても貴重なご意見を沢山いただくことができました。今年度より、食べる楽しみを増やすべく特別おやつを提供を始めたので、おやつを選ぶ際の参考にしたいと思います。

21

#### 問5 現在のお食事には満足していますか？



22

#### 問6 その他お食事に対するご意見・ご要望があれば教えてください。

##### ◆量について

- ・雑炊の時のご飯の量が少ない
- ・カレーの時はご飯の量が多い
- ・昼食のご飯の量が多い時がある
- ・ご飯はもう少し減らして欲しい
- ・おかずがもう少し多いといい
- ・おかずが多い
- ・お寿司をもっと大きくしてほしい
- ・ご飯が少なくておかずが余っちゃうからご飯を増やして欲しい ⇒嗜好調査後主食増量

23

#### 問6 その他お食事に対するご意見・ご要望があれば教えてください。

##### ◆味付けについて

- ・麻婆豆腐は味がいまいち
- ・煮魚の味付けが薄い時がある
- ・ミキサー食で味が薄いから不満
- ・あんかけは味がはっきりしない
- ・日によって味付けが濃い時と薄い時がある
- ・味が全体的に薄く感じる
- ・マヨネーズの料理が少ない

24

**問6 その他お食事に対するご意見・ご要望があれば教えてください。**

◆硬さについて

- ・カレーはご飯が軟らかめがよい
- ・たまに硬い物がある
- ・ご飯は軟らかすぎることもある
- ・油揚げが噛めない
- ・魚のあんかけなどの時はあんかけの具が硬い

◆温度について

- ・お盆まで温かくて良い
- ・冷たいのが嫌だ
- ・箸とスプーンが冷たすぎる
- ・牛乳寒天、ゼリーや冷たい物は体が冷える

25

**問6 その他お食事に対するご意見・ご要望があれば教えてください。**

◆嗜好について

- ・豆腐が嫌い ⇒嗜好調査後豆腐禁追加へ
- ・甘い物が好き
- ・茶粥に梅干しを付けて欲しい
- ・うどんやそばが出るのが楽しみ
- ・毎日酢の物を出して欲しい
- ・生野菜がもっと食べたい
- ・漬物（たくあん）が欲しい
- ・野菜が少ない(かぼちゃ、芋など)

26

**問6 その他お食事に対するご意見・ご要望があれば教えてください。**

◆その他

- ・家ではあまり食べられない珍しい物が出るとよい
- ・テレビで観た物が食べたい
- ・食事の内容が家とは違い進まない
- ・食欲があまりない、そういう意味で満足ではない
- ・こういう所で暮らしているんだから、これしか食べられないと分かっている。そういう意味で不満に思うことはない。
- ・よく作ってくれていると思う、ありがたい
- ・特になし、いつも美味しい、献立立てるの大変でしょ？
- ・自分は作らないでも食事が出てくるから毎日感謝しています
- ・ほとんど美味しい

27

現在のお食事について、76.1%の方が『満足』、9.0%の方が『不満』と回答されました。  
『不満』と回答された方の理由としては「食欲がない」、「食べたい食形態ではない」「集団生活であるため他人と合わせなければいけない」といったご意見がありました。  
集団での食事提供は家庭と違い限界はありますが、まだまだ改善の余地があると感じています。可能な限り利用者様一人ひとりに寄り添い、傾聴して対応していきたいと思えます。

また、嗜好調査の実施により、利用者様が食事の要望を栄養士に伝えるきっかけが増えました。  
そのため、個別に調整可能なものはその場で反映し、要望にすぐに応えることができました。  
今後も定期的に嗜好調査を実施し、利用者様のご意見・ご要望をもとに満足度の高いお食事が提供できるよう、尽力して参ります。

28